

活力と魅力あふれる まちづくりに向けて インフラのストック効果

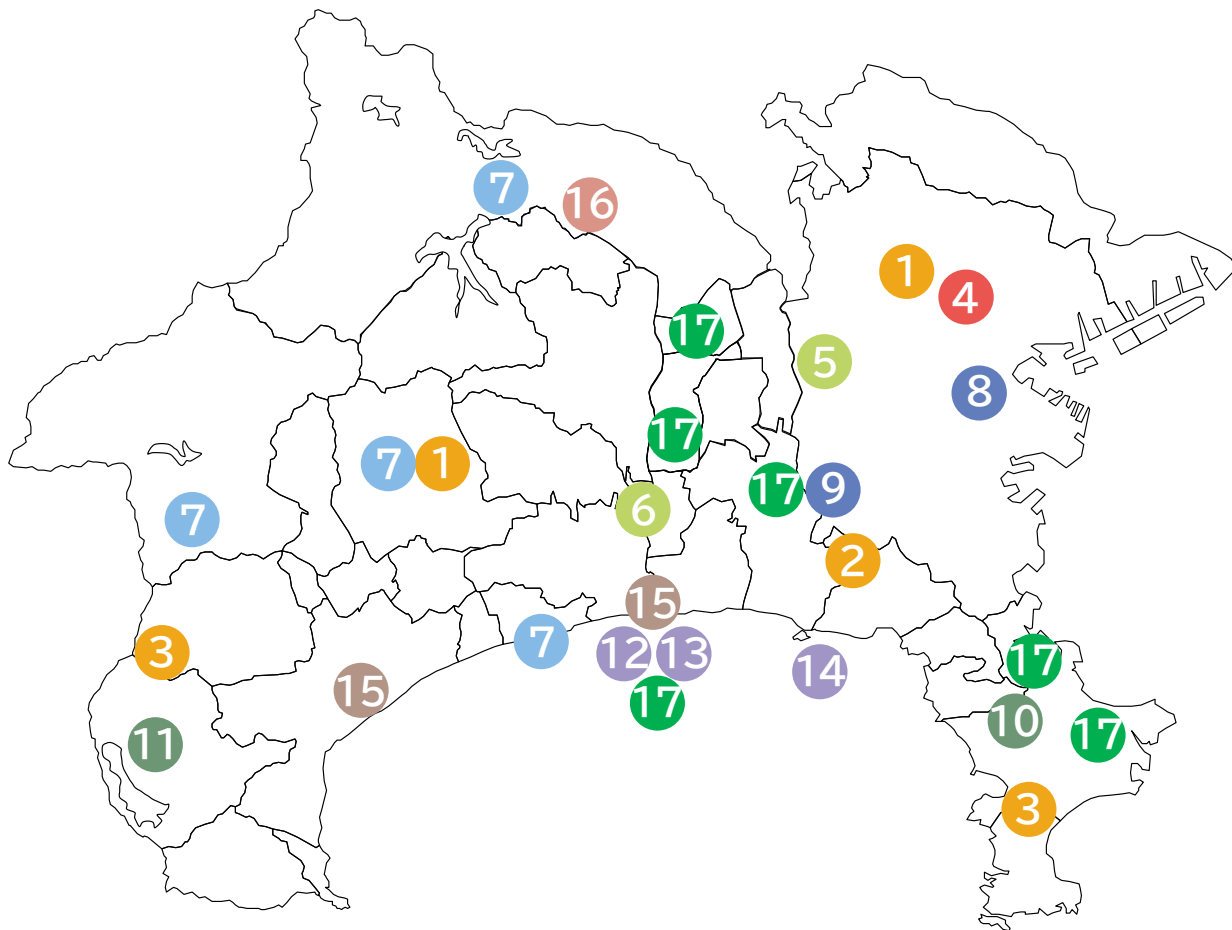
神奈川県県土整備局
令和5年3月



■ ストック効果とは

- 神奈川県では、道路や河川、下水道、公園、鉄道などの多岐にわたるインフラ整備が行われています。
 - これらのインフラは、一度整備されれば、その役割や機能は続いていきます。
 - 整備により蓄積されたインフラを「ストック」、整備されたインフラが機能して、効率性や生産性が向上していく効果を「ストック効果」と呼んでいます。
 - 本紙では、神奈川県における「ストック効果」がどのようなものかを紹介します。
-

■ 事業箇所図



道路事業

- ① まち、ひと、流れを変えた道！
- ② つなげる道路、つながる未来！
- ③ スイスイ快適！くらしをかえる道

鉄道事業

- ④ 神奈川県中部と都心をつなげる鉄道！

都市整備事業

- ⑤ 住みたい「まち」に生まれ変わる！
- ⑥ 活力ある「まち」に生まれ変わる！

公園事業

- ⑦ 都市の憩いやうるおいの場を創出！

河川事業

- ⑧ 水辺を生かした「まちづくり」！
- ⑨ 安全・安心なくらしと地域のにぎわいを支える！

砂防・急傾斜事業

- ⑩ 安心して暮らせる地域をめざす！
- ⑪ 国際観光地『箱根』の観光を支える！

海岸・港湾事業

- ⑫ 白砂青松の美しい景観を守る！
- ⑬ 将来にわたる美しいなぎさの継承をめざす！
- ⑭ 快適で魅力あふれるみなとをめざす！

下水道事業

- ⑮ 健全な水環境を未来へつなぐ！

住宅事業

- ⑯ 住みやすさアップ！

グリーンインフラ

- ⑰ 自然が有する多様な機能を活用した都市づくり！

まち、ひと、流れを変えた道！

—— 高速道路の整備による効果

■ 首都圏中央連絡自動車道(圏央道)

- 圏央道は、都心から半径約40～60kmの位置で、東名高速道路などの放射状道路をつなぐ環状道路であり、沿線都市間の連絡を強化するとともに、都心部へ流入する交通を適切に分散し、円滑化することにより、観光振興、企業活動の活性化、周辺地域の環境改善等に寄与する重要な道路です。
- 平成29年2月の茨城県区間の開通により、湘南から千葉までがつながり、現在、全体の約9割が供用されています。

効果1 北関東からの移動時間が半減

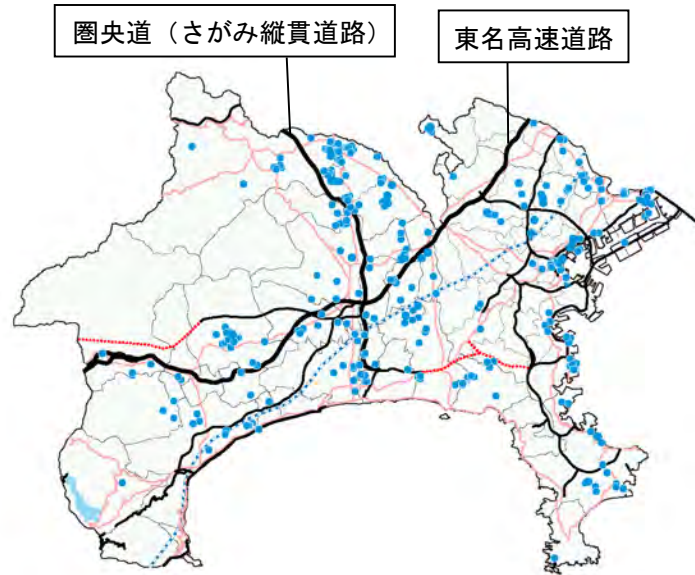
- 久喜白岡JCTから海老名JCTまでの移動時間が**約60分短縮**



国土交通省・東日本高速道路㈱ 記者発表資料(H27.11.11)を基に作成

効果2 沿線を中心に企業が立地

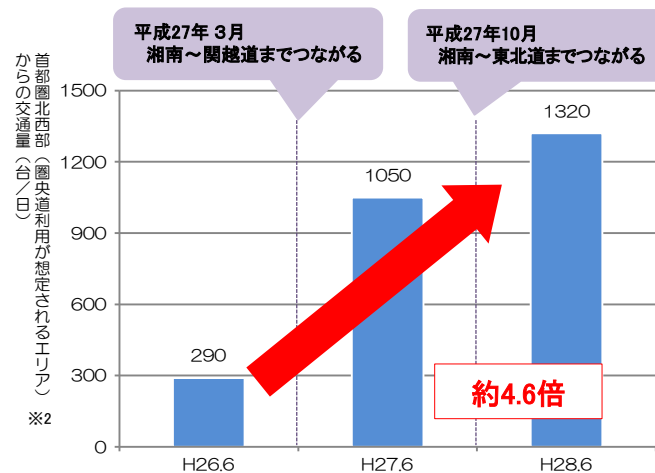
- 圏央道など自動車専用道路の沿線を中心に工場や研究所が立地



県の企業誘致施策(インベスト神奈川2ndステップ、セレクト神奈川100、セレクト神奈川NEXT)を活用し、平成17年(2005年)から立地した企業を图示(R4.6現在)

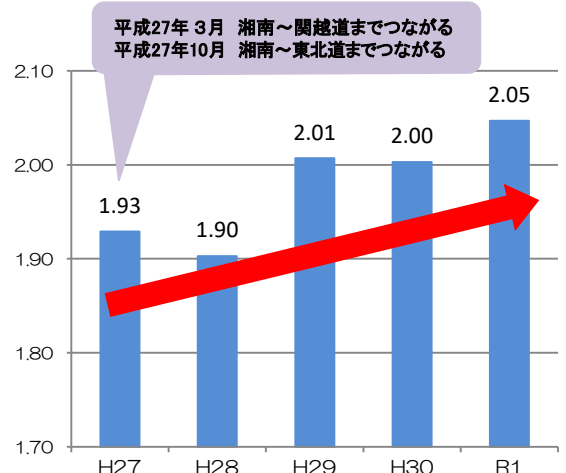
効果3 神奈川県への来訪者が増加

- 北関東から湘南地域^{※1}への休日の**交通量が4.6倍**に増加



【出典】NEXCOデータ(休日)
国土交通省記者発表資料(H28.10.27)を基に作成

- コロナ前の県内入込観光客数が3年連続**2億人**を突破



入込観光客数の推移(過去5年間)

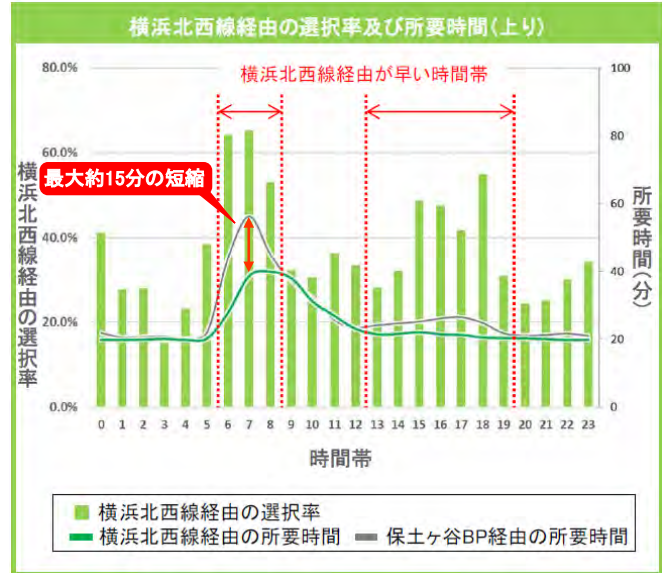
【出典】令和元年神奈川県入込観光客調査結果
神奈川県記者発表資料(R2.8.13)を基に作成

■ 横浜北西線

- 横浜北西線は、横浜北線と一体となり、東名高速道路から羽田空港や横浜港をはじめとした湾岸地域を直結し、空港や港へのアクセス向上や物流の効率化等に寄与する重要な道路です。

効果 物流の効率化に寄与 ～横浜港へのアクセス性が向上～

- 横浜北西線の開通後、東名高速から大黒JCTへの利用者は、保土ヶ谷BP経由が混雑する朝ピーク時(6～8時)では、約6割が横浜北西線経由を選択し、**最大約15分の時間短縮**が図られました。



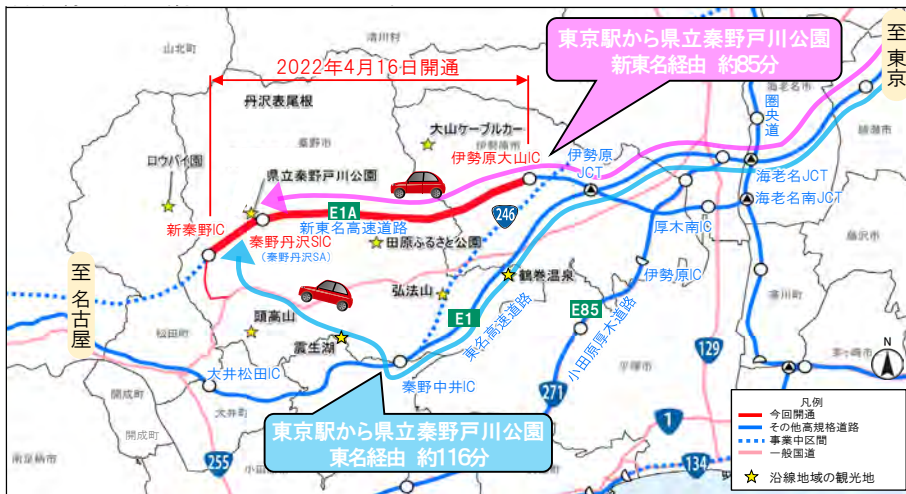
<使用データ>ETCデータ
<集計結果>開通後:2021年11月1日～11月30日の平日平均
首都高速道路(株)(R4.4.27)を基に作成

■ 新東名高速道路

- 新東名高速道路は、首都圏と中部圏を結ぶ大動脈であり、慢性的な交通渋滞に陥っている東名高速道路と交通機能を分担することで、高速性・定時性を確保するとともに、災害発生時の緊急輸送路や、東名高速道路の被災時や維持管理・更新時の代替路となる重要な道路です。

効果 周辺地域の観光振興を支援 ～沿線地域の観光地へのアクセスが向上～

- 新東名高速道路(伊勢原大山IC～新秦野IC)の開通により、東京方面からの沿線地域の観光施設へのアクセス性が向上しました。所要時間が短縮することで、沿線地域への観光客の増加が期待されます。



※混雑時旅行速度を用いて算出(新東名は100km/hで算出)【出典】平成27年度全国道路・街路交通情勢調査

《観光施設の声》



秦野丹沢SICが県立秦野戸川公園の近くにできることから、現在よりも広範囲から観光に訪れていただくことが期待されます。より多くの方に秦野市の魅力を知ってもらえると嬉しいです。

県立秦野戸川公園



丹沢表尾根



ロウバイ園

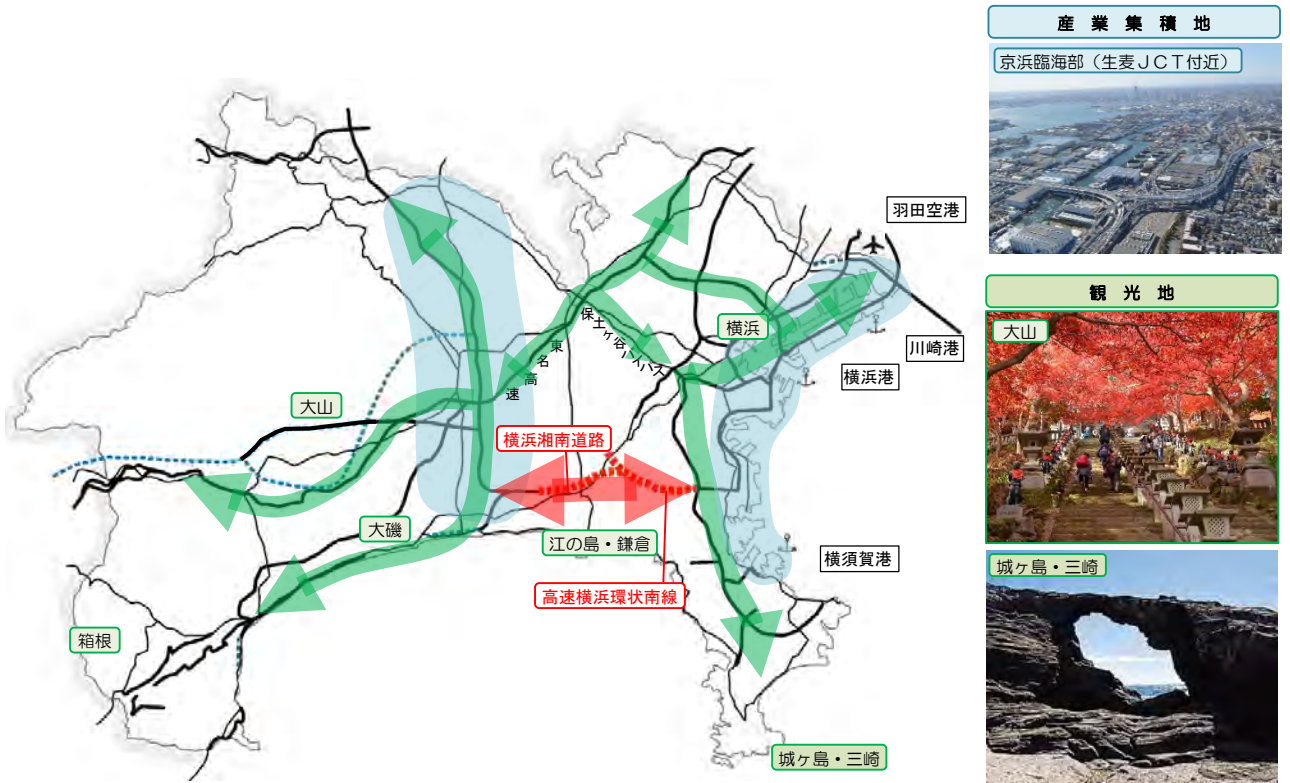


横浜湘南道路・高速横浜環状南線の開通への期待

- 横浜湘南道路と高速横浜環状南線は、さがみ縦貫道路などと一体となって、横浜の湾岸エリアや三浦半島と湘南・県央地域を結ぶとともに、災害発生時には、緊急輸送路として湾岸部を救援する重要な道路です。

効果 時間短縮・物流の効率化・観光振興に期待

- 横浜湘南道路と高速横浜環状南線が整備されると、横浜三浦半島地域と県央湘南地域等の連携が強化され、**移動時間の短縮**や**交通混雑の緩和**が図られます。
- さらに、広域的な道路ネットワークが形成され、災害時における**リダンダンシーの確保**、定時性向上等による**物流の効率化**や**観光振興**が期待されます。



産業集積地

京浜臨海部（生麦JCT付近）



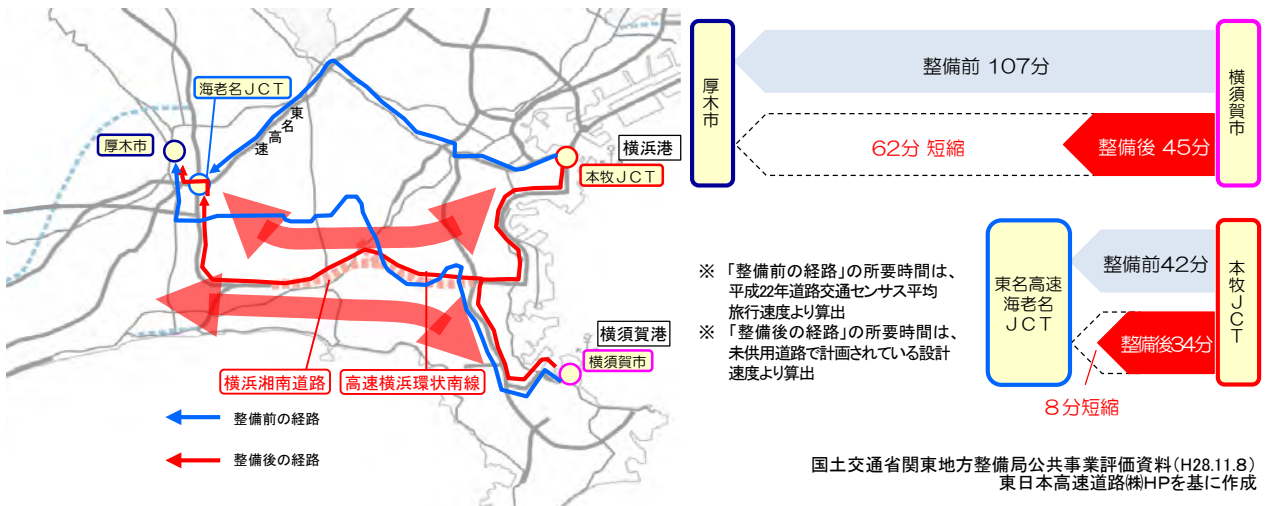
観光地



城ヶ島・三崎



- 横浜・三浦半島と県央・湘南地域のアクセスが向上し、所要時間が**大幅に短縮**



スイスイ快適！くらしを変える道

—— 道路整備による移動時間の短縮、渋滞緩和

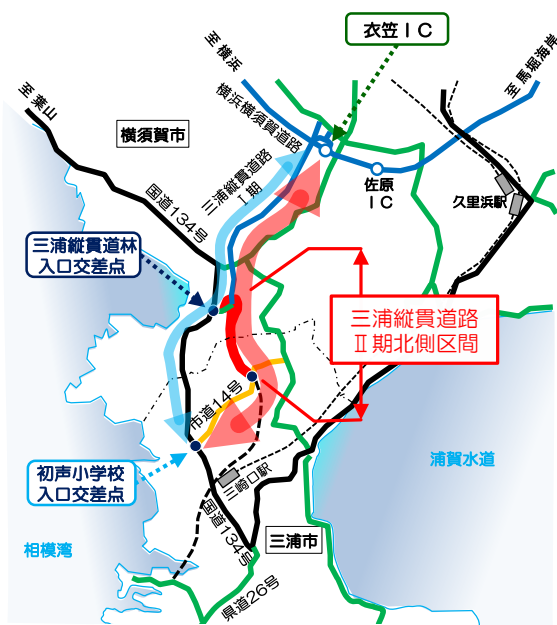


三浦縦貫道路Ⅱ期北側区間



はこね金太郎ライン

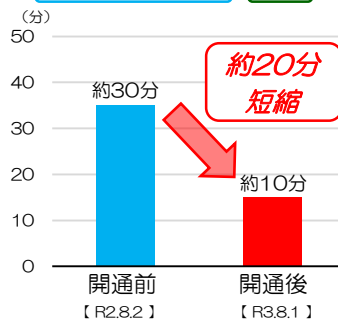
効果1 移動時間の短縮、渋滞緩和(三浦縦貫道路Ⅱ期北側区間)



- 三浦市から横須賀市までの移動時間が短縮
- 並行する国道134号の渋滞が緩和

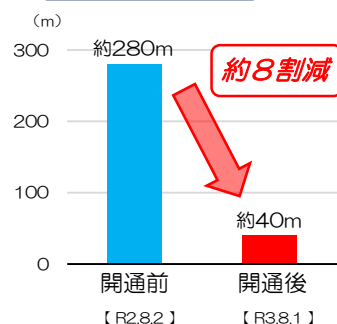
■ 移動時間調査

(初声小学校入口交差点～衣笠IC)



■ 渋滞長調査

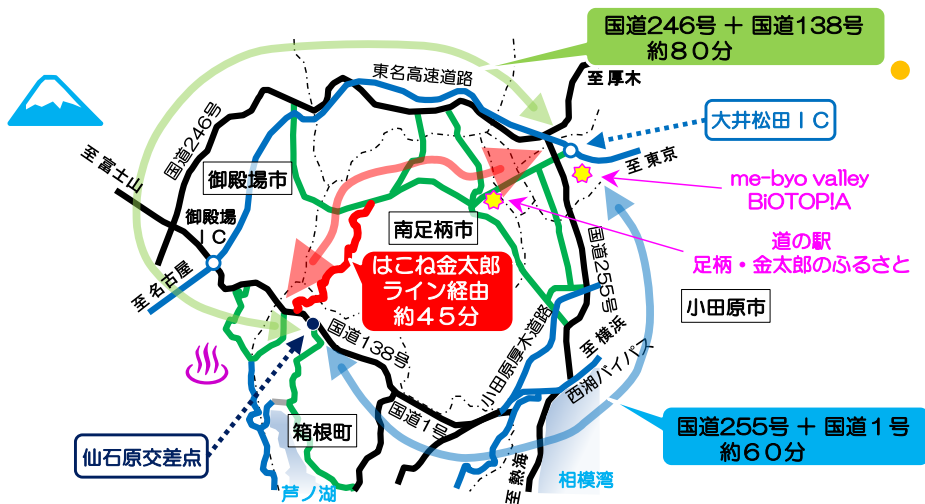
(三浦縦貫道林入口交差点 (下りの渋滞長))



道路利用者の声 (消防関係者)

開通区間を利用することで、搬送時間が短くなったことを実感しています。

効果2 移動時間の短縮(はこね金太郎ライン)



- 東名高速道路「大井松田IC」から箱根町仙石原(仙石原交差点)までの移動時間が短縮

道路利用者の声

箱根までの移動時間が短縮したことで、箱根がグッと近くなりました。

※ 高速道路80km/h、一般道路30km/hとして算出

神奈川県央部と都心をつなげる鉄道！

—— 神奈川東部方面線の整備による効果



神奈川東部方面線とは・・・

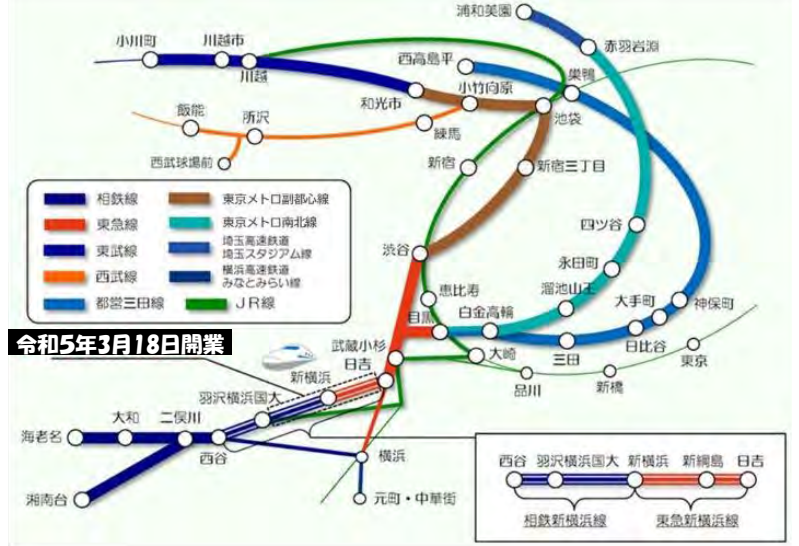
- 相鉄線の西谷駅と羽沢横浜国大駅を經由し、JR東海道貨物線横浜羽沢駅付近を結ぶ「相鉄・JR直通線」と、羽沢横浜国大駅と東急線の日吉駅を結ぶ「相鉄・東急直通線」の2つの連絡線で構成されています。
- 2つの連絡線の整備により、相鉄線とJR線、相鉄線と東急線が相互に乗り入れることができるようになりました。
- 県は、国、横浜市と協調して、整備主体の(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構に対し、整備費の補助を行っています。

効果1 広域的な鉄道ネットワークの形成

- 神奈川東部方面線の整備により、県央・湘南地域から東京、埼玉まで、7事業者14路線を結ぶ広大な鉄道ネットワークが形成され、所要時間の短縮、乗換回数の減少など交通利便性・速達性が向上しました。

※路線名称

- ・西谷駅～新横浜駅間・・・相鉄新横浜線
- ・新横浜駅～日吉駅間・・・東急新横浜線



相模鉄道(株)等記者発表資料(2022.12.16)を基に作成

効果2 所要時間の短縮

- 神奈川県央部や横浜市西部から東京都心部方面が近くなり、例えば、毎日、海老名駅から目黒駅へ通勤する場合、
1日あたり 約29分×2(往復)＝約58分短縮
「自分のための時間」が増やせます。



東急電鉄(株)作成冊子より抜粋

効果3 乗換回数の減少

- 東京都心部と直結することにより、途中駅での乗り換え回数が減少するため、高齢者、障害者、子供連れなど誰もが快適に目的地まで行くことができます。



東急電鉄(株)作成冊子より抜粋

■ 瀬谷駅南口第1地区市街地再開発事業



市街地再開発事業は、老朽化した木造住宅等の密集、公共施設の不足など都市機能が低下している駅周辺等の地域において、再開発ビルと公共施設等の整備によって、活力あふれる豊かなまちづくりを推進することを目的とした事業です。

瀬谷駅南口第1地区は・・・

- 駅前の好立地にもかかわらず
- 木造住宅低層の店舗併用住宅や戸建住宅が密集するなど低未利用地が多く
- 地区内の道路は狭あい歩行環境にも課題があった



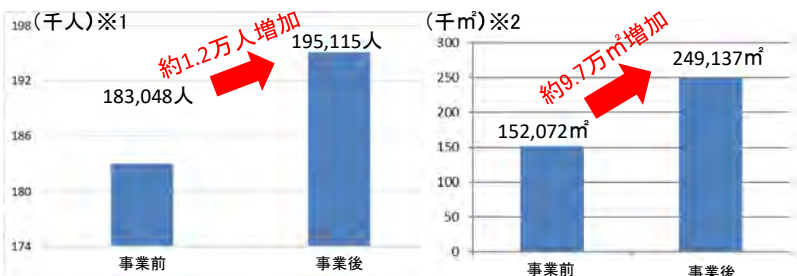
本事業によって・・・

- 駅前広場等の都市基盤整備から駅前に相応しい商業施設や都市型住宅を集積
- 駅と再開発ビルを結ぶペデストリアンデッキを整備し交通結節機能の強化
- また、再開発事業にあわせて、地域住民の文化芸術活動の交流拠点として区民文化センターを整備し
- にぎわいある街づくりを行い防災性や生活利便性の向上

効果1 再開発で「まち」が活性化

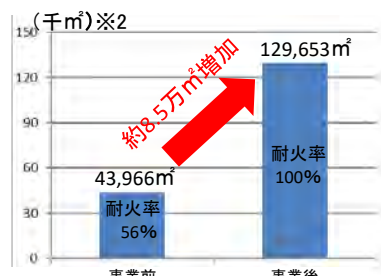
平均駅乗降客数が約7%アップ！

商業床面積が約1.6倍にアップ！



効果2 防災性が向上

耐火建築物床面積が約3倍にアップ！



活力ある「まち」に生まれ変わる！

—— 土地区画整理事業による産業用地の創出



● ツインシティ大神地区土地区画整理事業にて立地した企業



<信濃運輸(株): 令和2年12月開業>

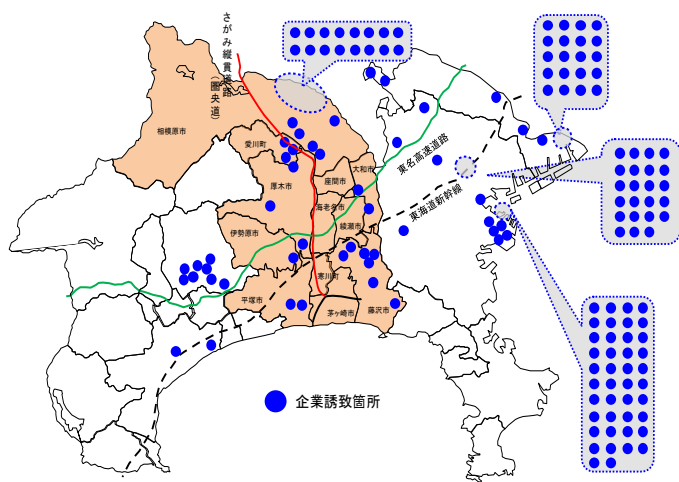


<日本GLP(株): 令和3年3月開業>



<大和ハウス工業(株): 令和4年11月開業>

効果1 土地区画整理事業と企業誘致策による産業の集積



- 産業用地を生み出す土地区画整理事業と、企業誘致策の実施により、150件の企業を神奈川県内に誘致※



経済的効果・雇用創出・県税収に
大きな効果を発揮

※県が実施する「インベスト神奈川2ndステップ+」、
「セレクト神奈川100」及び「セレクト神奈川NEXTによる
経済的インセンティブ等により誘致した企業

効果2 さがみ縦貫道路(圏央道)沿線でのロボット産業の集積

- さがみ縦貫道路沿線ではさがみロボット産業特区と土地区画整理事業の実施効果により県内に6件のロボット産業関連企業を誘致



生活支援ロボットの活用を通じた地域の安全・安心の実現



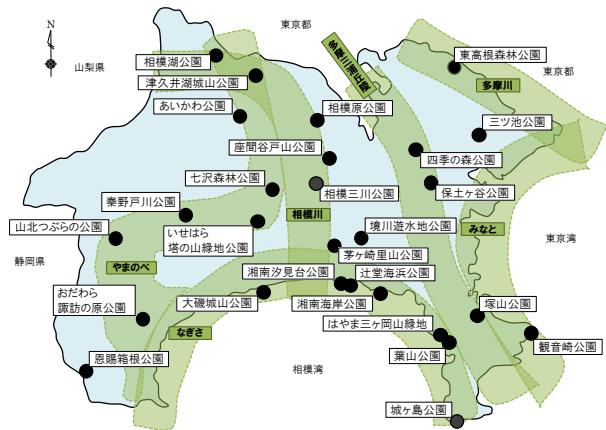


山北つぶらの公園からの眺望

効果1 骨格となるみどりの確保

- 都市域における緑の保全と創造の拠点軸となるみどりの骨格ベルトにおいて、拠点となる都市公園整備を行い、都市と自然の調和・共生を促進します。

みどりの骨格ベルトと県立都市公園の配置



効果2 みどりとオープンスペースの提供

- 都市のみどりやオープンスペースが減少するなか、豊かな自然環境や遊び場、スポーツ施設などのオープンスペースで、多様なプログラムを実施します。



津久井湖城山公園



秦野戸川公園

効果3 歴史や文化の継承と創造

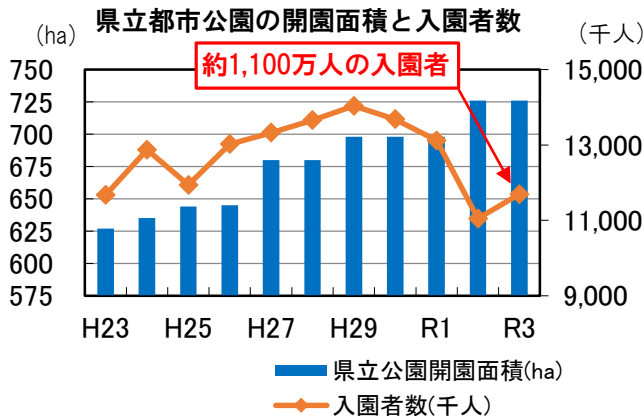
- 歴史資源の保全活用をはじめとする様々な伝統文化の地域拠点として、公園から文化創造活動を発信します。



大磯城山公園(旧吉田茂邸地区)
吉田茂が存命した昭和41年頃の景観を目指し、戦後政治史の舞台となった空間を再現

効果4 地域活性化への貢献

- 地域のシンボルとなるような景観の提供、誰もが気軽に楽しめる多様なプログラムを実施し、公園の賑わいにより地域の活性化に貢献します。



水辺を活かした「まちづくり」！

—— 大岡川水系の親水施設整備によるにぎわいの創出



大岡川夢ロード(平成16年3月完成)



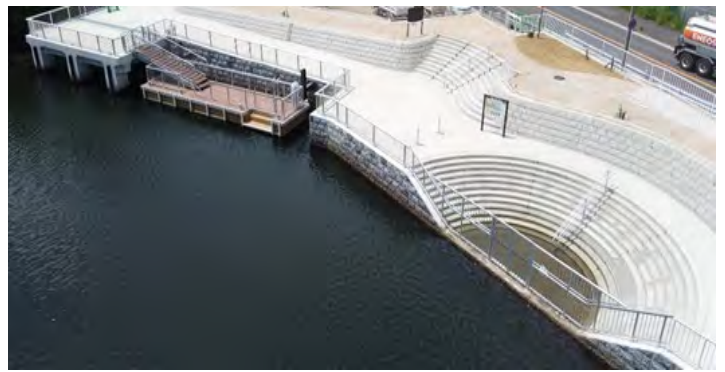
大岡川桜棧橋(平成19年3月完成)



ふれあいアクアパーク(平成22年7月完成)



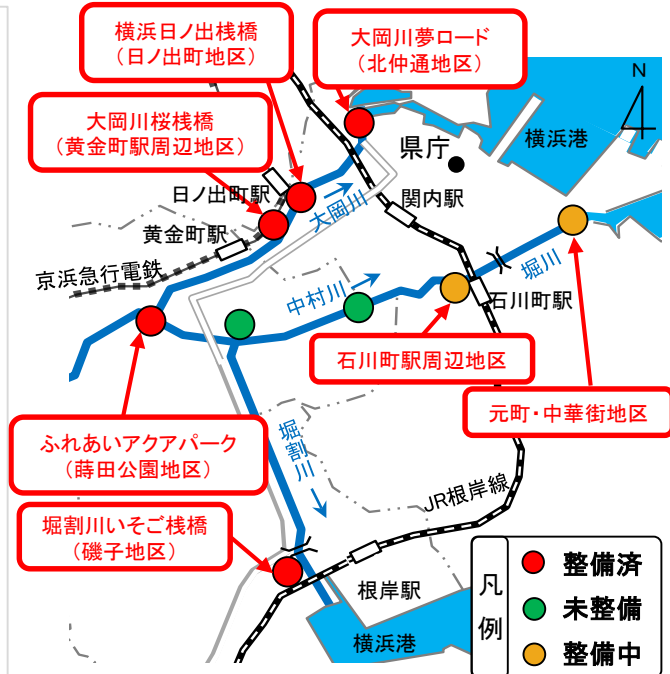
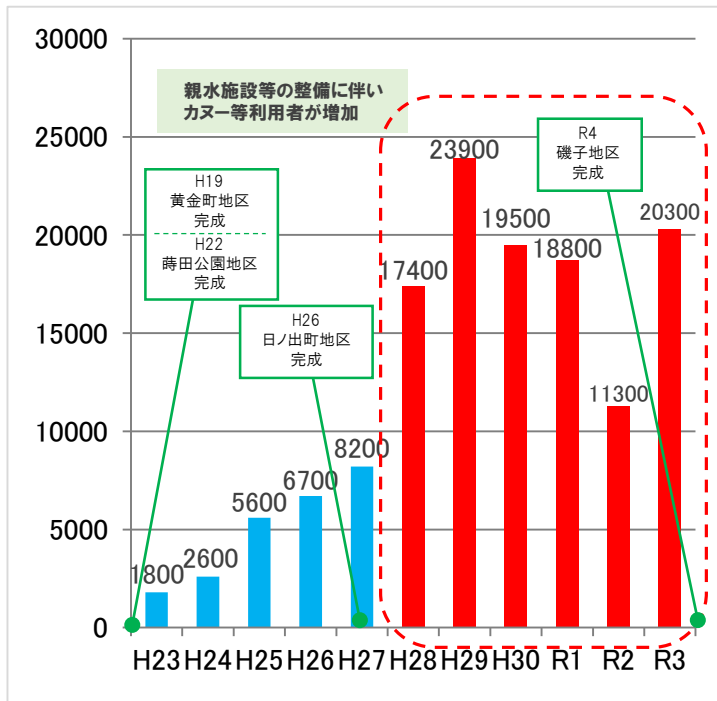
横浜日ノ出棧橋(平成27年3月完成)



堀割川いそご棧橋(令和4年5月完成)

効果 水辺の利用者が増加

- 横浜の中心市街地で、親水施設を整備したことにより、様々な催しに活用されるなど、地域の活性化やにぎわいの創出に寄与している。



親水施設整備(予定)箇所

俣野遊水地・下飯田遊水地・今田遊水地の3池から構成される
境川遊水地



効果1 大雨による浸水面積が大幅に減少

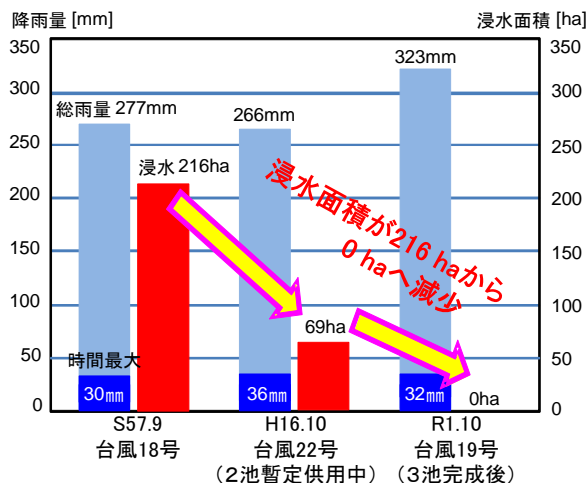
- 境川遊水地は、台風などの豪雨時に、治水効果を発揮し、下流の水位上昇を抑制しています。



平常時



洪水時



効果2 親水空間の創出

- 遊水地内のグラウンドやビオトープなどは、平常時には公園として利用され、都市部における貴重なオープンスペースとして、多くの人々に親しまれています。



テニスコート



ビオトープ

少年野球場

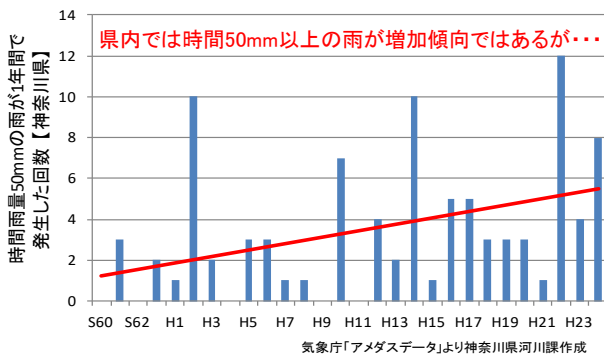


広場

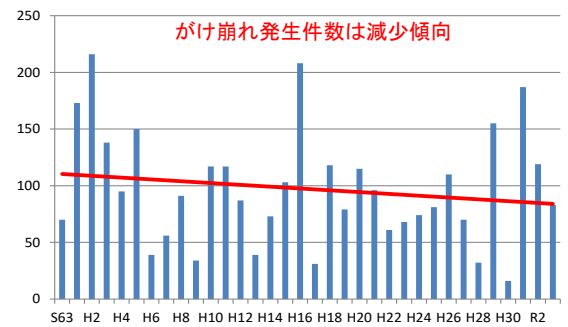




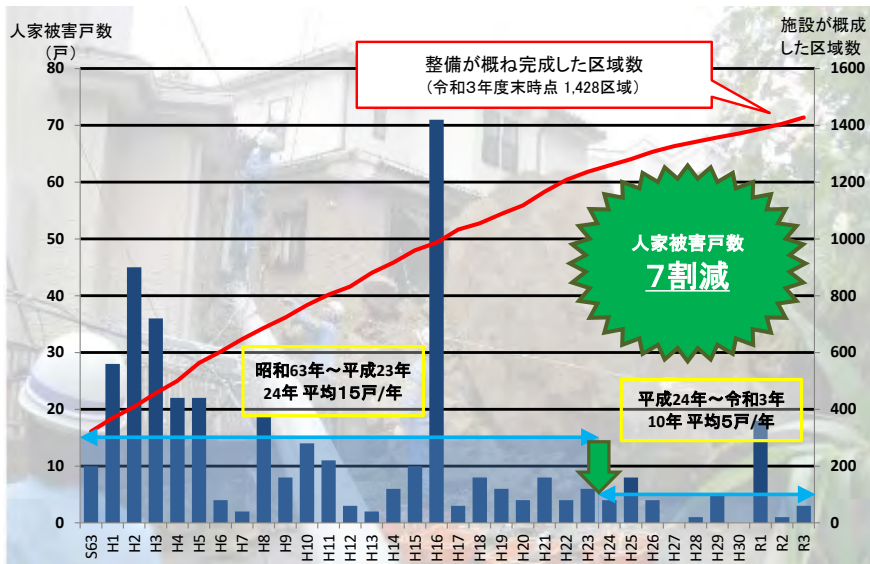
効果1 がけ崩れの発生件数が減少



がけ崩れ発生件数



効果2 がけ崩れによる人家被害が減少





効果1 土砂災害リスクが低減

- 温泉地すべり地帯である「大涌沢」では、度々、災害を引き起こしており、特に明治43年には、40万 m^3 の土砂が、折からの大雨とあいまって土石流となり、死者6名、流出家屋30数戸という大きな被害となりました。
- 地すべりを防止する山腹工やアンカー工に加え、土石流を受け止める砂防堰堤などの土砂災害対策を進めることで、近年では、多量の土砂流出は発生しておらず、土砂災害のリスクが大きく改善しています。



効果2 賑わいの創出



■ 観光客の安全・安心を！

「黒たまご」で有名な大涌谷園地を訪れる観光客の安全・安心を確保することにより、観光資源の魅力向上に役立っています。

■ 観光を便利で快適に！

箱根の多様な交通手段の一つである、ロープウェイの安全な運行を支えています。また、ロープウェイから見える、火山のダイナミックな景観形成にも役立っています。



■ 温泉水を強羅などの地域へ！

大涌沢の地すべり防止区域内にある温泉造成施設により作られた温泉水が、強羅や仙石原などの温泉街へ供給されています。



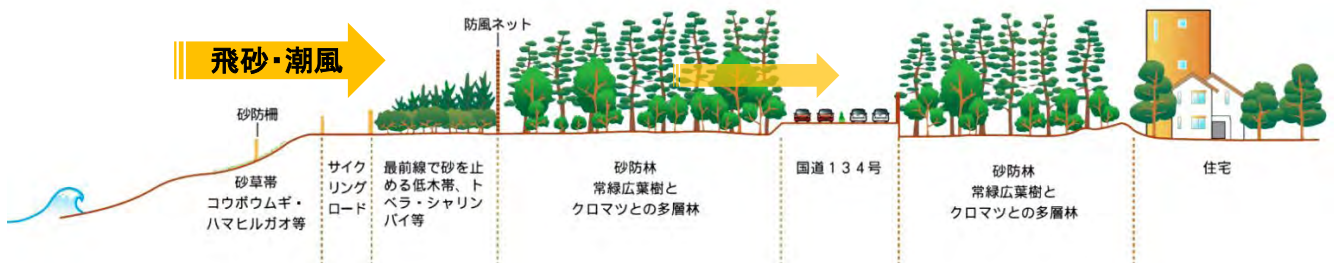
- 湘南海岸砂防林は、潮風や飛砂などから、海岸地域の住宅や道路などを守るために育てています。
- この砂防林は開発が進んだ沿岸地域において、白砂青松の美しい景観に寄与する貴重な緑地となっており、さらにはCO2の吸収、騒音軽減、火災延焼防止、津波被害の軽減など多様な効果が期待されています。

効果 沿岸住宅地の生活環境の保全



湘南海岸砂防林

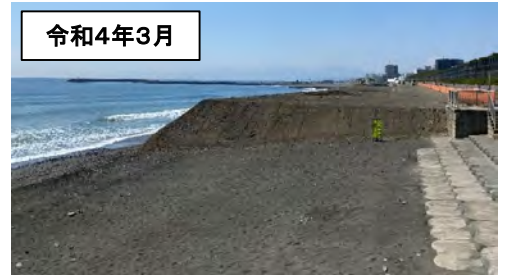
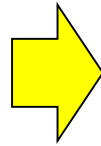
- 海岸砂防林は11.4kmの範囲にわたって整備され、沿岸の生活環境を守ると共に、首都圏に残る緑地として景観形成に寄与しています。



- 海岸からの飛砂や潮風による塩害を砂防林で受け止めて背後地への影響を小さくします。また、津波の威力を減衰する効果も期待できます。

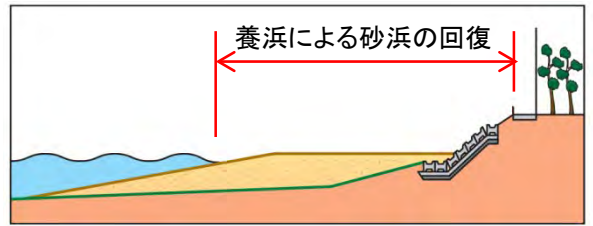
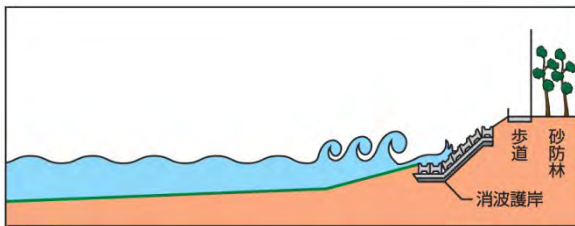


効果1 高潮や波浪による災害の防止



- 茅ヶ崎海岸（中海岸地区）では毎年約30,000m³の養浜※を行った結果、平成17年度には、ほぼなくなっていた砂浜が、令和3年度には、砂浜の幅が約47mまで回復しています。

※ 養浜：海岸に人工的に運んだ土砂を投入すること

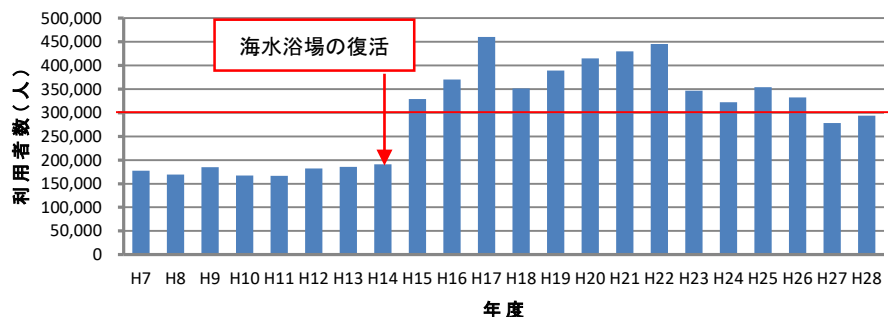


- 浜幅の拡幅により、高潮や波浪による災害を防止します。

効果2 砂浜の回復による地域活性化



〔平塚海岸の年間利用者数の推移〕



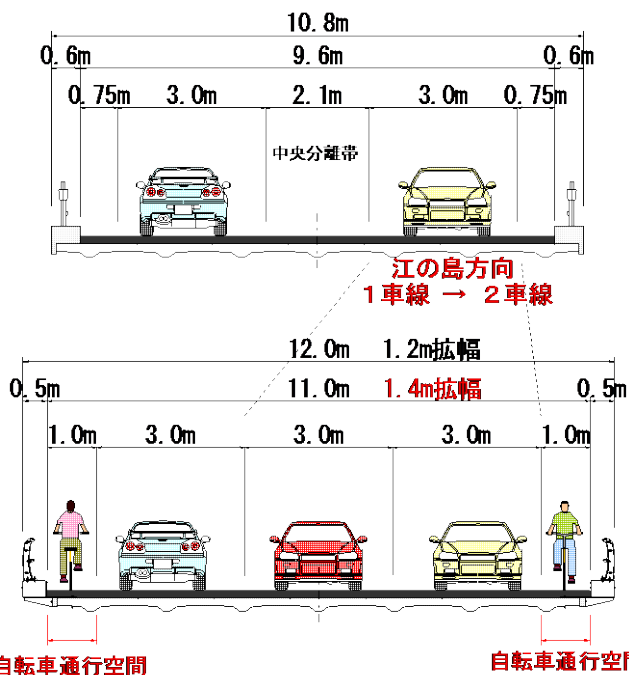
- 平塚海岸では離岸堤の整備や養浜を行い、砂浜が大きく回復しました。これにより、平成14年には35年ぶりに平塚海水浴場が復活し、ビーチスポーツやレジャーにも利用できる場として、年間約30万人の方々に利用されています。



効果1 江の島大橋3車線化による渋滞の緩和



- 休日を中心とした渋滞の緩和を図るため、江の島大橋の3車線化を実施しました。



- 上下2車線の間にある約2メートル幅のゼブラゾーンを利用したうえで、両側に設置している高欄の付け替えなどを行い、島内へ向かう車線を1車線増やすことで3車線化を実現。

効果2 年間100回以上開催されているセーリング競技大会の円滑な運営



江の島セーリングセンターの新築



セーリングセンターの活用



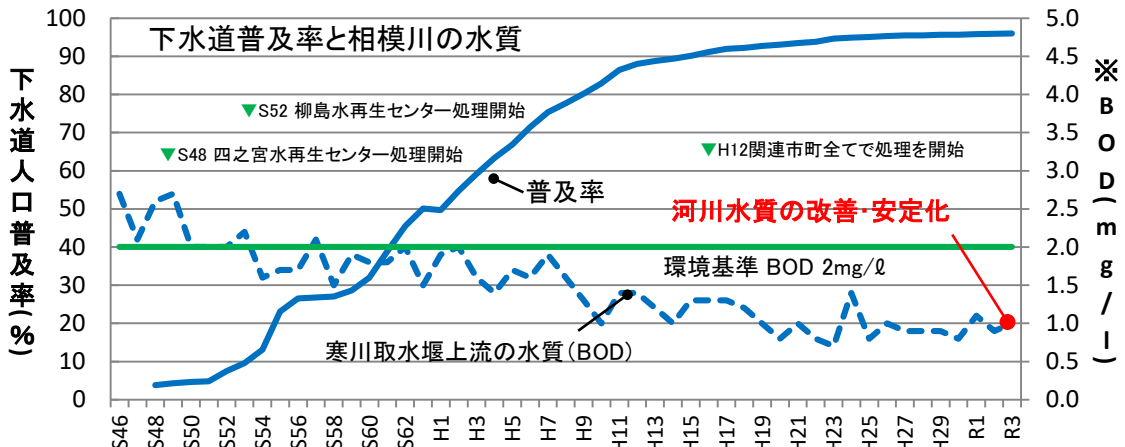
セーリング競技大会の開催

- 神奈川県では、県民の水資源として欠くことのできない相模川、酒匂川の水質保全と流域市町の生活環境の改善を図るため、相模川流域では昭和44年から、酒匂川流域では昭和48年から、流域関連市町の協力の下、流域下水道の建設と維持管理を行っています。
- 神奈川県の下水道人口普及率は全国第2位の水準であり、相模川流域においては95%を超えています。



神奈川県の流域下水道

効果1 水質の改善と安定化



※ BOD (Biochemical Oxygen Demand)
BODとは、水に含まれている有機物の量を表す指標値です。
水中の好気性微生物によって5日間で消費される溶存酸素の量で、数値が高いほど有機物の量が多く、汚れが大きいことを示しています。

効果2 上部空間の有効活用

- 下水処理場の上部空間は、広場や太陽光発電設備設置場所として有効活用しています。



上部利用広場
(酒匂川流域下水道 扇町水再生センター)



太陽光発電設備
(相模川流域下水道 四之宮水再生センター)

効果1 住環境の改善

■ 建替え事業

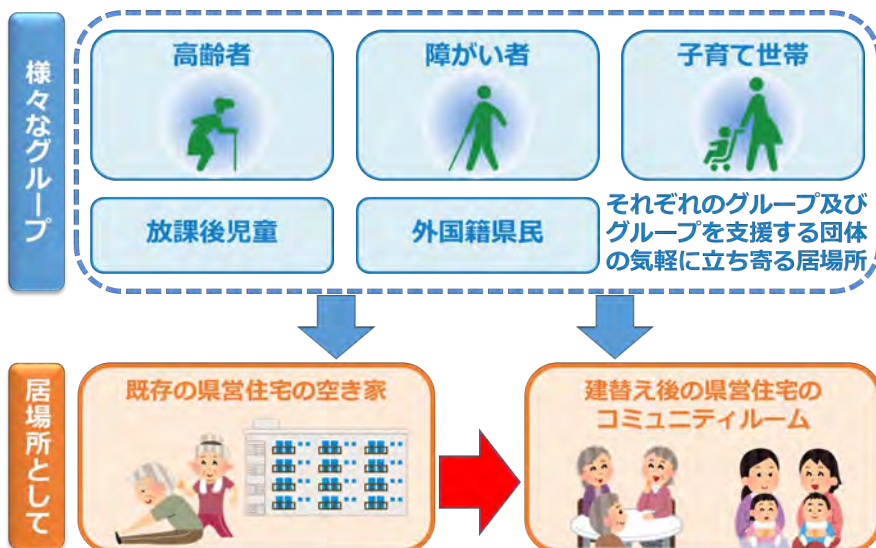
- 老朽化した団地を建替えることにより、居住環境の改善、バリアフリー対応を推進する



効果2 コミュニティ再生・活性化

■ 地域に開かれた居場所づくり

- 空き部屋活用等により、入居者だけでなく、近隣の住民や活動を支援する方々と共に、地域に開かれた「居場所」づくり(交流サロンの開設等)や支援活動を行うことで、コミュニティ再生・活性化を図る



既存空き家の取組みは、
建替え後のコミュニティルームへ

団地入居者のコミュニティの活性化と未病改善のため、集会所やコミュニティルームを活用し、様々な団体が活動中



横浜国立大学とNPOの連携による子ども支援



大学生入居



団地コーラス

- 県土整備局では、様々な社会的課題に対応するため、自然が有する多様な機能により、防災・減災、地域振興、環境等へ効果を発揮するグリーンインフラを活用し、インフラのストック効果の最大化に取り組んでいます。



効果1 防災・減災

境川遊水地（藤沢市・横浜市）



遊水地による治水対策

浦賀町3丁目A（横須賀市）



緑化による法面保護

効果2 地域振興

茅ヶ崎海岸（茅ヶ崎市）



養浜による観光資源の保全

座間谷戸山公園（座間市）



レクリエーションの場の提供

効果3 環境

県道26号（横須賀三崎）（横須賀市）



街路樹による快適なみち空間の形成

永池川（海老名市）



多自然川づくり

MEMO



神奈川県

県土整備局 総務室

横浜市中区日本大通1 丁目231-8588 電話(045)210-1111(代表)

[令和5年3月]